

令和4年10月5日

議会議長 加藤 常夫 様

文教厚生委員会

委員長 野田 哲郎

閉会中における所管事務調査についての報告

函南町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

- 1 開催日時 令和4年7月28日（木）午前9時00分
- 2 委員の出席状況 委員全員出席 議長出席
- 3 調査事項

(1) 丹那小学校の小規模特認校の導入について

丹那小学校では少子化の影響により児童数が減少し、平成29年度以降、地域を交えた数多くの協議の場を経て、令和5年度から小規模特認校制度の導入が決定している。

これにより、豊かな自然環境に恵まれ、地域とも密着をした教育を行う丹那小学校への入学を希望する区域外の児童について、入学を許可することができるようになる。

令和5年度の児童受け入れに向け、教育委員会と学校がこれまで以上に連携、協力し、一つ一つの課題をクリアしていくことが求められている。新たな制度が始まる現場では、想定していない様々な問題が発生することもあると考えられる。

町においては、制度の導入によりさらに充実した教育環境となるよう、学校関係者や地域住民との協働、個々の児童への配慮に努められたい。

(2) 寺尾原遺跡発掘調査報告書の概要について

寺尾原遺跡は、湯～トピアかなみ一帯の台地上の土地に広がる遺跡であり、その内、第7地点の調査面積約4,180平方メートルについて、湯～トピアかなみの建設に伴う事前発掘調査として平成12年9月4日から平成13年2月28日にかけて調査が行われた。

その後、職員による図面整理、土器の復元や実測、トレースなどが行われ、平成30年度以降は、委託等により報告書の作成準備が進められ、本年度、発掘調査報告書が刊行される予定である。

長期間をかけて作成された報告書について、今後、文化財保護法の目的に沿った活用がされるよう図られたい。

(3) かなみ仏の里美術館の現状について（現地視察）

かなみ仏の里美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置期間中の休館や、団体客の人数制限、入館者の居住地制限等が行われてきた。これにより、令和2年度及び令和3年度の入館者数は減少しているが、来館者が安心して観覧できる環境づくりに繋がられている。

令和4年7月から8月にかけては、木造阿弥陀如来及両脇侍像が鎌倉国宝館特別展に出展のため不在となっているが、展示箇所については同じサイズのパネルが配置され、来館者に対しては出展後に改めて観覧いただくための招待券を配布しており、不在期間に訪れた来館者への対応について確認を行うことができた。